

河川維持管理技術者の提案・助言による局所洗掘対策の実施

- 護岸根固ブロックに局所的な沈下が発見されたことから、河川維持管理技術者と合同で現地調査を実施。
- 河川維持管理技術者から現地補足調査（水中レーダーによる深淺測量）、緊急性の判断及び対策工の提案・助言により、迅速な対応が可能となった。

1. 現状把握と評価

根固めブロックの沈下は、要監視段階と評価された。しかし、当該箇所はみお筋の蛇行により水衝部となっているため、さらにブロック沈下の進行が懸念された。

2. 原因と対応策

みお筋の蛇行の原因は、左岸の砂州発達及び右岸の河床低下の進行にある。みお筋の蛇行による水衝部解消の対応策として、コスト縮減や水辺環境への配慮から、砂州の部分開削を実施することにした。

3. 施工後のモニタリング

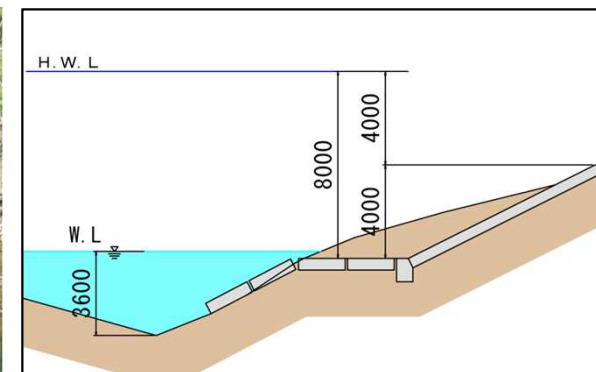
施工後の中小洪水により、水衝部が緩和され、局所洗掘箇所では若干の土砂堆積が確認された。



合同の現地調査



局所洗掘による根固めブロックの沈下



水中レーダーによる深淺測量により、根固めブロック4列のうち、2列が沈下していることが判明。



施工前

局所洗掘箇所

砂州の部分開削計画



施工後

局所洗掘箇所

砂州の部分開削



出水後

若干の土砂堆積を確認